

『女性の視点から避難所を考えませんか?』第6回 会議録

◆開催日 平成27年2月20日(金) 10:00~11:45

◆場所 四谷ひろば B館2階 コミュニティルーム1にて

◆参加者 四谷特別出張所担当
地域住民 18名 計19名

配布資料：第5回議事録

10:05 開会

回を重ねるごとに、開催期間が短くなり、参加者が増えています。ありがとうございます。本日は、過去最高の19名となりました。このレディス会は、四谷ひろば避難所運営管理協議会の支援団体として、女性同士が平日より仲良く、お茶を飲みながら相談できることが大きな目的として開催されています。この積み重ねにより、自分がわからなくても、わかる人に聞けるとか、紹介できるとかのレベルでも、万が一のその場で多少なりともその場の暗い空気を緩和できるくらいはできるのではないかと。ということで活動していきたいと思います。平日より、この会を理解し、今日も早くから準備のお手伝いに駆けつけてくださった四谷特別出張所担当には感謝しています。また、先日の地域防災協議会(2月12日開催)のあとで四谷ひろば避難所運営管理協議会の責任者の皆様にも活動状況の報告をしていただきました。

四谷特別出張所担当：平日頃のこの活動については、お手伝いをさせていただきながら毎回勉強させていただいております。先日の避難所の集まりでは、運営協議会会長より、この会の趣旨や現状報告をしていただき、各町会長・防災部長の皆様にご理解ご賛同をいただいております。

10:10 消防団所属メンバーによる『手身近なもので、応急救護をしてみよう』

予想されている地震としては、阪神大震災のタイプで、直下型の地震である。阪神大震災は20秒の揺れで、その中でピークの揺れは10秒。たった10秒の中で多大な被害が生じた。

6434名の被害の中で、77%が圧死、そのうち、90%が寝室で亡くなっている。

ご帰宅されたら、まずは、寝室の見直しをしてみてください。

家や建物では、16万4千人が被害にあい、そのうち、35000人が助けられた。7900人は公助、そして、それ以外の人は近隣の人たちによって助け出された。このような活動は、実際におおいに役立つので、ぜひ、継続して活動してほしい。我々女性は非力なので、今日、お教えする応急救護は本当に現場で必要とされる活動につながると思います。

☆各自用意しているもの：レジ袋、靴下、ストッキング、手ぬぐい又はタオル
以下、前後した話もあるので、内容ごとに分けて、記述いたします。

①ブレーカーをおとして避難する。

復旧時の通電火災予防。電気ストーブを使用していなくても、電気コードに重たい家具等が乗ることやコードが傷つくことにより、電気が復旧した時に出火の恐れがある。

②家庭にあるもので、止血

清潔なタオル等で傷口を抑える。ただし、直接、血液を触らない。感染の恐れあり。

身内なら、そのままでもよいが、一般の人を助けることになった時には、必要な注意。

ビニール袋等を使用すると良い。

タオルで押さえて15分程度止血するが、大勢を対象とする場合には、締めるために、ストッキングの先のほうや、靴下の先を切って通すと締めることができる。

四肢であれば、このタオルとストッキングで止血できる。または三角巾とストッキング。

頭については、ストッキングの腰の部分の部分を切って利用する、または防止を利用。

手のひらは、タオル等をにぎらせて、軍手を利用する。軍手は、指を中に返して、親指のところを切って、カバーとする。親指の部分の部分を切ることによって、指の色を確認できる。

手をあげるだけでも止血になる。10秒手をあげて降ろすと左右の手のひらの色が違う。心臓より高い位置に手をあげることで、止血になる。

【図1】奨励されている「直接圧迫止血法」



家庭にあるもので、やけど手当

ドアノブ等は、素手で開けない。一度、手の甲等で、熱さの様子を伺い、確認をする。

手のひらがやけどしている場合には、ゆるくふわっと包む。サランラップとか、三角布

家庭にあるもので、骨が折れたとき

添え木をする。段ボールや新聞紙を折り曲げて、厚めにすることで添え木になる。

輪っかになるもので、首から腕を吊る。

ベルト・スーパーの袋のサイドをカットしたもの

吊るときには、個人差があるので、痛くないところに高さや位置を調整する。

【図2】スーパーのレジ袋で骨折した箇所を固定する



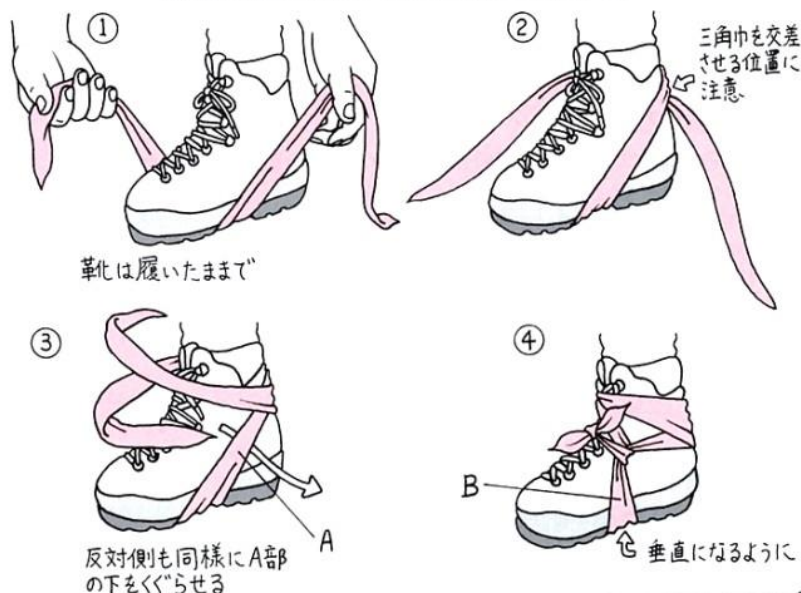
足首を怪我したら ※参加者による質問

三角巾、ストッキング、ひも状にのばせるもの。スーパーの袋を持ち手と横サイドカットしても良い。

ねんご…基本、靴の上から固定。うしろで交差。

止血…前で交差。

登山靴を履いたままでのねんごの処置法の手順



③その他

- ・ストッキングはあったかい。紐にもなる。便利だが、熱に弱い。要注意。避難するときには、木綿が一番。
- ・手当等をするときには、不安をとりのぞいてあげる。声かけを必ずする。「包帯の代わりに、ストッキングを使います」とか、「きつくないですか」とか
- ・周囲の状況把握
動く前にまずは、周りを確認。裸足で歩いて、ガラスが刺さる。蛍光灯も割れているかもしれない。人を助ける前には、要注意。自分の安全確保のためにも、飛び出さない。危険な場所からは、移動して、手当を行うなど。

11:15 茶話会

○消防フェスタの打合せ

当日、参加できる方

12名

昼食に、八竹(1個包)用意しています。

○何をするか。

早めに来て、各コーナーを体験する。

今日、習ったことを、基本的には、実践できるようにしておくこと!という精神で。

消防団のコーナーで、消防団の方たちのお手伝いをするくらいで、一つのコーナーを担当するというわけではない。

11:45 閉会

今回の倉庫の整理については、土曜日に行い、男性の方にもぜひ、ご参加いただきたい。三月は、どの団体も多忙なので、ひと段落した4月。

【消防フェスタお手伝い 2月28日(土) 11:00～ B館3階 メモリアルルーム集合】

早めに来られる方は、各コーナーに参加してください。

11時に、メモリアルルームにて集合をいたします。当日、変更が生じた場合には、スタッフルームやメモリアルルームに貼り紙をいたします。

本日、利用した小道具については、各自ご用意できれば持参してください。

お弁当を用意しておきますので、よろしく願いいたします。

場所：講堂にて 鼓笛隊のあとに会場が設営されます。消防団のコーナーを予定していますが、内容は状況に応じて。なお、お手伝いは、消防団員の元で行うことで決定です!!

【次回、レディス会 4月18日(土) 10:00～ 大人のサロン集合】

次回テーマ：避難所倉庫の掃除と整理

各自用意するもの：軍手 汚れてもいい服装またはエプロン等